

総合科学の基礎C  
哲学思想の基礎

2018/5/25  
民主主義と多数決③

### あいまいな推定

- 「～だろう」「～ではないか」「～はずだ」など、あいまいな推定の表現は避ける。
  - 「思う」などと同様、理由や根拠を書かずにごまかす表現。
  - あいかわらず、「意見」「質問」として、質問のしつぱなしの人が多い。

### 憲法は外国人が作った方がよい

- 「私は、「憲法は外国人が作ったほうがよい」という考え方に疑問を持った。確かに、共同体のメンバーが自分たちにとって都合のいいように憲法を作る可能性は拭いきれない。しかし、だからといって、外国人がつくればうまくいくのだろうか。外国人の利害関心が含まれる可能性はないのか。やはり、憲法は時間がかかっても共同体のメンバーで話し合っ作**べきだ**。その際、意見をまとめる手段として多数決を用いたり、外国人に客観的な意見を求めたりして、誰もが納得のいく決定を下した**ほうが良い**。最初から外国人に任せるのは間違っている」。

### その2

- 「やはり自国の仕組みを作るのは自国民でなければならない。なぜなら、自国民が作った憲法でなければ、外国に従わされているという感覚に陥りがちであるからだ」。
- ( ) ので、それらを ( ) 比較検討して、いちばんマシなやり方を取るしかない。それでうまくいかなかったら修正する。
- 誰が原案を作るかよりも、内容がよいかどうか問題。
- ルソーの言いたいことは、よい内容(基本的人権の保障が的確に示されている)にするための ( ) として、「その共同体に利害関係がなく、高い知恵のある人が、( ) に従って原案を作ればよい」ということ。

### 「公職選挙法はおかしい」。

- 
- まずは具体的にどのような問題があるのかを特定する。
- どのようなやり方にもメリット、デメリットがあるので、それらを具体的に比較検討して、いちばんマシなやり方を取るしかない。
- 公職選挙法の場合、「不当な手段で選挙が行われないうように」という ( ) のために、細かい規定がある。それと、「国民が候補者の資質を比較検討して的確に判断できるようにする」という ( ) とのバランスをどうとるか、という観点でどうするのが「マシ」かを判断する。

### 今日の宿題

- 「授業コメントとそれへの応答」を読んで解く小テスト。Manabaで実施。
  - 締め切りは5月29日(火)17時。